

避難所の 新型コロナウイルス感染症対策

これから風水害の多くなる時期を迎えます。新型コロナウイルスの影響が長期化する中、感染症対策に留意した災害への備えが重要です。今すぐ取り組みを進めましょう。

【地域福祉課☎216-1244FAX223-3413】

事前の備えを十分に

災害が迫ったとき、危険な場所にいる人は、即座に命を守る行動が必要です。あらかじめハザードマップなどで自宅周辺のリスクを把握し、頼れる知人や親戚宅などがいないかも確認しておきましょう。また、持ち出す物を整理するなど、今からできる備えを進めることが大切です。

▼避難所以外の避難先も検討しよう

□避難所での「3密」を避けるために
自宅避難か、自宅外避難か事前に検討しよう



自宅にとどまることを「自宅避難」、安全な場所に住む知人や親戚宅など、自宅外に避難することを「自宅外避難」といいます。それぞれが適切な避難先を選択することで、安全で、密にならない避難につながります。

▼持ち出し品を準備しよう

避難するときには自宅から緊急的に持ち出す「非常持出品」、停電や断水などを想定した3日分の「備蓄品」に加えて、マスクや体温計などの衛生用品を準備しておきましょう。

非常持出品

- 懐中電灯 □非常食(缶詰など)
- 携帯ラジオ □現金(小銭含む)
- 救急用品 □充電器 □携帯電話
- 健康保険証 □雨具 など

備蓄品

- 飲料水(1人1日3ℓ) □食料品
- 卓上カセットコンロ
- 衣類(下着・上着) □毛布 など

これらに加えて…
感染症を防ぐための
持ち出し品もチェック!

- マスク
- 体温計
- 消毒液 など



避難所での感染を防ぐために

本市では、災害発生時に避難者を適切に受け入れられるよう、避難所の感染症対策を行っています。

▼台帳の作成・健康管理

- ・避難した人の受け付けを必ず行い、氏名・緊急連絡先などを台帳に記載します
- ・体温測定などの健康チェックを定期的に行います

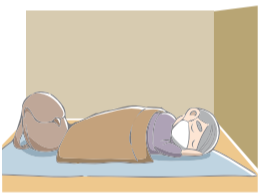
▼密を防ぐスペースの確保

- ・1人当たりの避難スペースを、これまでの約2倍の4㎡(畳2畳半程度)確保しています
- ・比較的大きな避難所では、車いすでも通れる通路を設けます

▼公衆衛生対策の徹底

- ・小まめな手洗いや手指消毒を励行するなど、避難所内での感染予防を徹底します
- ・よく手が触れる共有部分などを中心に、定期的に清掃・消毒し、接触による感染を予防します

□避難所で発熱などの症状が出たときは?



◀別室や専用スペースで対応します

▶医療機関の受診を案内します



まず別室などに移動してもらい、医療機関を受診するよう案内します。

※感染者や疑いのある人と、非感染者との接触を避けるよう徹底します



避難を決めたら

感染拡大を防ぐために

▼発熱・咳などがあるときは

まずはかかりつけ医療機関や受診・相談センターなどへ相談してください(連絡先などは2面をご覧ください)。

緊急的に避難の必要が生じたとき、避難先に迷うときは地域福祉課に連絡してください。

▼命を守る行動を

命を守るため、市の避難所では、避難してきた人を拒むことなく受け入れます。災害が迫ったときや、避難情報が発令されたときは、危険を感じる前にちゅうちよせ避難しましょう。



市長からの メッセージ

爽やかな初夏を迎えて

窓を開けると、心地よいそよ風が入ってきます。街路樹のみずみずしい新緑が、街を鮮やかに彩っています。爽やかなこの季節、ぜひ心身をリフレッシュしていただきたいと思います。「コロナ疲れ」という言葉が生まれるほど不安やストレスを感じておられる方が多いと思いますが、散歩や運動などで体を動かすのは心の健康にもよい効果があるといわれています。

市の各施設では、花々が見ごろを迎え、さまざまな催しも予定しています。新型コロナウイルス感染症の第4波の影響が全国各地で大きくなっている中、「3密」回避などにいっそうの対策を講じており、ご不便をお掛けすることもありますが、ご協力をよろしくお願いたします。

休日には、私もしっかりとマスクを着けて家族と公園に出かけ、英気を養おうと思っています。



鹿児島市長 下鶴隆央